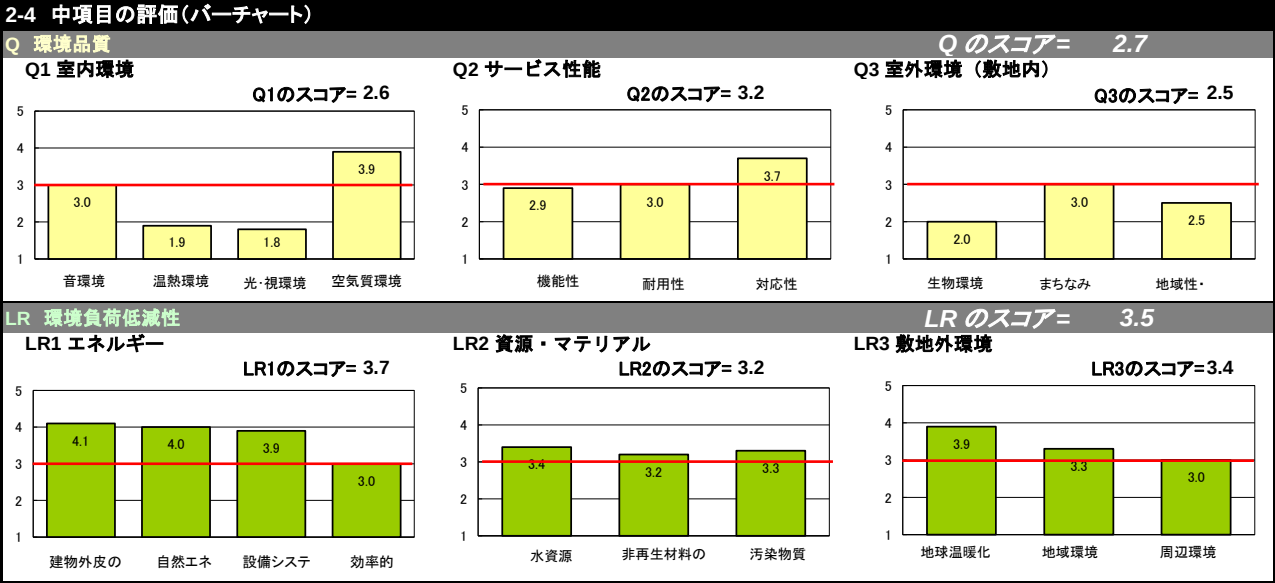
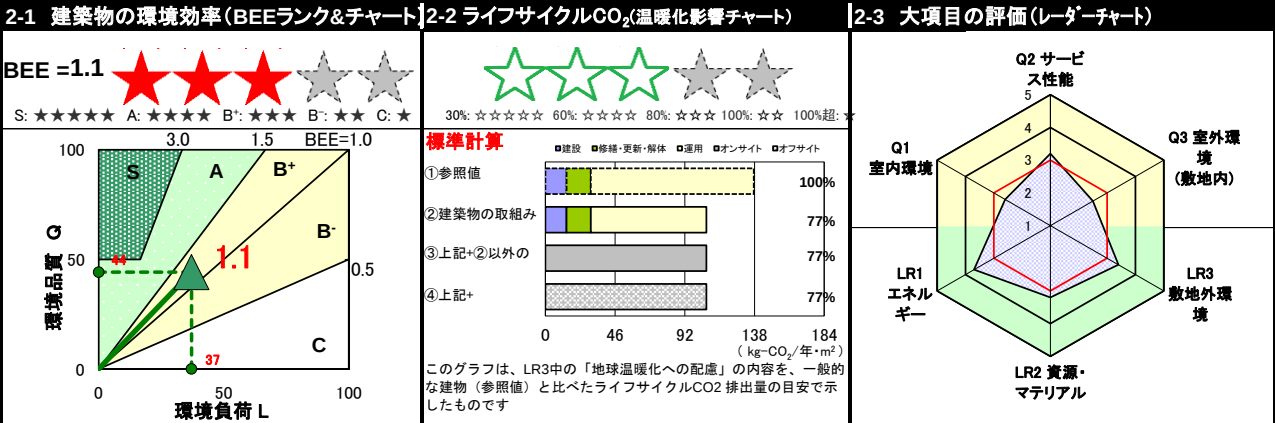


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川崎重工株式会社 技術開発本部 新実験棟Ⅱ-3建設工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県明石市川崎町100番1 他16筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、工業地域、第1種住居地域	平均居住人員	56 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年3月10日
敷地面積	510,687 m ²	作成者	小西 龍機
建築面積	1,236 m ²	確認日	2023年3月13日
延床面積	2,356 m ²	確認者	児玉 克史



3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	建築材料は、告知対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い仕上げ材や配管材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)		特に無し。
LR1 エネルギー	LED照明器具を採用し、省エネルギー化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓に自動水栓を採用し、節水に努めている。
LR3 敷地外環境		ライフサイクルCO ₂ 排出率77%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される